

平成 29 年度青森県秋季陸上競技選手権大会 実施要項

主催	一般財団法人青森陸上競技協会
共催	青森県高等学校体育連盟陸上競技専門部
後援	青森県教育委員会・青森県体育協会・青森県中学校体育連盟
主管	一般財団法人青森陸上競技協会・青森市陸上競技協会
期日	平成 29 年 9 月 22 日（金）～24 日（日）
場所	青森県総合運動公園陸上競技場
競技開始	1・2・3 日目 9:00
種目	【男子】 1 日目…400m、1500m、ジュニア 110mH(0.991m)、110mH(1.067m)、3000mSC、5000mW 4×100mR、走幅跳、走高跳、砲丸投(7.26kg)、ジュニア円盤投(1.75kg) ジュニアハンマー投(6.0kg) 2 日目…100m、800m(予)、10000m、4×400mR(予) 棒高跳、ジュニア A 砲丸投(6.0kg)、円盤投(2.0kg) 3 日目…200m、800m(決)、5000m、400mH、4×400mR(決) 三段跳、ジュニア B 砲丸投(5.0kg)、ハンマー投(7.26kg)、やり投 【女子】 1 日目…400m、1500m、ジュニア B100mH(0.762m)、100mH(0.838m)、5000mW 4×100mR、走幅跳、砲丸投(4.0kg) 2 日目…100m、800m(予)、3000m、10000m、4×400mR(予) 走高跳、棒高跳、円盤投(1.0kg) 3 日目…200m、800m(決)、5000m、400mH、4×400mR(決) 三段跳、ハンマー投(4.0kg)、やり投

参加資格 平成 29 年度青森陸上競技協会登録者であること。
※一般選手の未登録者は青森陸上競技協会ホームページより必ず登録終了後申し込んで下さい。

出場制限 男・女とも制限なし。ただし、年齢区分は以下の通りとする。

ジュニア B・・・中学 1 年生～高校 1 年生

ジュニア A・・・高校 2 年生～高校 3 年生

ジュニア・・・高校生以下

※ただし、ジュニア B の生徒がジュニア A や一般の種目に、またはジュニア A の生徒が一般の種目に
出場することは可能である。出場する場合はハードルの高さや砲丸の重さについて十分
ご指導いただき、けがのないように宜しくお願いします。

表彰 第 1 位～第 8 位までを表彰する。

参加料 1 種目 1,000 円、リレー 1 チーム 1,500 円。必ず申込と同時に、銀行振込で納入して下さい。

【銀行振込先】 青森銀行 八重田支店 (129)

普通口座 1204884

青森陸上競技協会競技部 代表 川下 友徳

※手数料は、各団体で負担すること。

※宛名は、「県陸協」など省略せずに「青森陸上競技協会 競技部 代表 川下 友徳」と明記
すること。また、宛名と振込人名を間違えて記入することがないように注意すること。

※振込人は、印字に制限がありますので、団体名、学校名、個人名が判別できるよう記入する。

例 1) 青森県立青森工業高等学校の場合、青森県立はつけないで、学校名を省略して「アオ

コウギョウ」等のように記入する。

例 2) 国士舘大学体育学部体育学科 1 年 青森太郎 (個人) 1 名しか出場者がいない場合、学部・学科、学年はつけないで、名前を明記してから、学校名を省略して「アオモリ タロウ コクシダイ」等と記入する。

例 3) 国士舘大学陸上競技部 (団体) で 2 名以上の出場者がいる場合、「コクシダイ リクブ」等と記入する。振り込みの際は、全ての選手・各リレーのエントリー数分の参加料を合計した金額を、一括して振り込むこと。

申込締切

メールにて 8 月 21 日 (月) 23:59 必着で申し込んで下さい。

申込注意
重要事項

- 1 申込は平成 29 年 8 月 1 日 (火) ~平成 29 年 8 月 21 日 (月) まで。深夜に電磁的に自動的に番組編成が行われるので、8 月 21 日 (月) 午前 0 時以降の申込みは一切無効になります。
- 2 大会申込作業を代行会社に委託しているため、申込締切日以降は、申込変更、申込遅延など全ての申込みに関する受付はできません。
- 3 申込変更、申込遅延などにより、申込受付作業、番組編成作業をやり直した場合は、別途作業代金を関係団体及び関係する個人から頂くこともあります。
- 4 申込締切後、個人・団体・学校事情等による参加料の返金には応じられません。
- 5 本大会参加料の振込先と選手登録料『青森県競技者登録』の振込先は異なります。
- 6 参加料の金額間違いや振込先の間違いなどにより、返金作業、入金作業を行った場合は、別途振込手数料などを関係団体及び関係する個人から頂くこともあります。

申込方法

青森陸上競技協会 HP を参照し、青森陸上競技協会競技部事務局まで申し込んで下さい。

【青森陸上競技協会】

ホームページ (HP) アドレス <http://www.jomon.ne.jp/~arikkyo/>

【申込専用メールアドレス】

中学・高校・大学等申込アドレス kensyuuki2017@mutsu-rk.jp

一般個人用申込フォーム (URL) <http://sofcom.ne.jp/mutsu-rk/kensyuuki/>

【団体登録者】 中学・高校・一般・大学 (大学内で 2 名以上の場合)

登録者 (代表者) に、メールで申し込みファイルを送信致します。メール受信者側のパソコン環境によって、迷惑メールフォルダ等に送付されている場合がありますので、ご確認下さい。申し込みファイルが届かない場合は、申込締切に間に合うよう余裕を持って問い合わせ先まで連絡して下さい。

申し込みファイルに、参加者を記入し、申し込み専用メールアドレスに送信して下さい。メールアドレスは、高体連主催試合や中体連主催試合とは異なりますので、ご確認願います。参加料は各団体で取りまとめた上、団体名 (振込人名) がわかるように振り込んで下さい。なお、申込締切後、個人・団体・学校事情等による参加料の返金には応じられませんので、ご注意ください。

【個人登録者】一般（個人）・大学（大学内で1名の場合）

青森陸上競技協会ホームページに掲載の青森県秋季陸上競技選手権大会の要項にある【申込専用メールアドレス】一般個人用の申込フォーム（URL）をクリックし、「平成27年度青森県秋季陸上競技選手権大会 申込フォーム」より参加の申し込みをして下さい。

参加料は個人名（振込人名）がわかるように明記して振り込んで下さい。

本大会参加料の振込先と選手登録料『青森県競技者登録』の振込先は異なります。間違えて振り込むことのないようご注意ください。なお、申込締切後、個人・団体・学校事情等による参加料の返金には応じられませんのでご注意ください。

※一般個人の登録、申し込みについて（青森陸上競技協会ホームページを参照）

・今大会に出場する際に必要な主な手続きは以下の通りです。

- ①青森県選手登録および日本陸連選手登録
- ②青森県秋季陸上競技選手権大会参加申し込み
- ③各選手登録料および青森県秋季陸上大会参加料の振り込み

※登録番号（ナンバーカード）の入力（記入）について

- ・新高校1年生については中学時の登録番号も忘れずに入力（記入）して下さい。
- ・新高校2・3年生については昨年の登録番号も忘れずに入力（記入）して下さい。
- ・登録番号の不足については、入力（記入）しないで下さい。
不足分の番号については、競技部事務局で割り当てし、連絡致します。

【申し込みに関する問い合わせ先】

青森陸上競技協会 競技部 担当 沼山 一弥

・PCメールアドレス numayama-kazuya@m04.asn.ed.jp

※問い合わせを頂いた際、対応にお時間を頂くこともあります。

参加料の
領収書に
ついて

参加料は銀行振込のため、銀行振込明細書をもって参加料の領収書の発行に代えます。銀行の振込控えが税務上も正規の領収書となります。ただし、参加団体で銀行の振込金領収書とは別に、領収書の発行を希望する場合は、青森陸上競技協会HPより「領収書」の様式をダウンロードし、必要事項を記入の上、銀行振込明細書とともに受付に持参ください。受付にて内容を確認の上、押印して領収書をお渡しします。

申込状況
の確認

申込状況及び参加料の振り込み状況は、青森陸上競技協会HPで確認できます。申込及び参加料振り込み後、青森陸上競技協会HPに掲載されるまで時間がかかることもあります。

その他

- ・各参加団体でスポーツ障害保険等に加入の上、本大会に参加して下さい。
- ・各団体代表者は、参加選手の健康・体調管理に努めた上、競技参加の判断をして下さい。
- ・本大会において、前日も含めて、主競技場内でのラダーやミニハードルといった競技用具以外の用具を使用しての練習は禁止とします。
- ・棒高跳のポール以外の器具は、原則として競技場備え付けのものを使用して下さい。
- ・組み合わせは平成29年度の記録を参考に決定します。
- ・主競技場は、大会前日の21日（木）は他の競技団体の利用予約は入っていません。

- 大会前日の 21 日（木）主競技場の使用料金は、各団体で負担の上で利用して下さい。
- 主競技場のテント設営のための場所の確保は、21 日（木）8:00 以降に行ってください。
（テント設営場所は、平成 29 年度高校総体及び新人戦の配置場所を参考にして下さい。）
- 砲丸投に限り、本競技場の投擲ピットで投擲練習を行うことができます。
- 男女 10000m においては、東京マラソン「準エリートランナー」推薦者の選考レースを兼ねています。推薦希望選手は、青森陸上競技協会 HP 掲載の「推薦希望書（個人票）」を事前に記載し、当日受付へ提出して下さい。

開 会 式 次 第

開 会 式 (22 日 8:30～)

- 1 役 員 選 手 整 列
- 2 開 式 通 告
- 3 国 旗 ・ 陸 協 旗 掲 揚
- 4 大 会 長 挨 拶
- 5 審 判 長 注 意
- 6 選 手 宣 誓
- 7 閉 式 通 告
- 8 役 員 選 手 退 場

平成 29 年度青森県秋季陸上競技選手権大会 競技注意事項

1 競技規則について

(1) 本大会は、2017 年度(財)日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項により実施する。

2 練習について

- (1) 練習は、プログラム記載の指定された会場で、「練習会場使用日程」に従い実施すること。
- (2) 練習は、原則顧問の付き添いのもと安全に留意し事故防止に努めること。

3 招集について

- (1) 招集所は 100m スタート側スタンド下に設置する。ただし、フィールド競技の招集は現場コールとする。
- (2) 招集開始時刻（点呼開始時刻）及び招集完了時刻（移動開始時刻）は、競技開始時刻を基準とし、下記の通りとする。

トラック 競 技	種 目	100m 100mH 200m 110mH 400m 400mH 800m 4×100mR		種 目	1500m 3000m 3000mSC 4×400mR		種 目	5000m 10000m 5000mW		
		組	開始		終了	組		開始	終了	組
	1～5	30 分前	15 分前	1～3	30 分前	15 分前	1	30 分前	15 分前	
	6～10	15 分前	0 分前	4～	15 分前	0 分前	2	15 分前	0 分前	
	11～15	0 分前	15 分過	*	*	*	3	0 分前	15 分過	
	16～	15 分過	30 分過	*	*	*	*	*	*	
フィールド 競 技	種 別	跳 躍		種 別	棒 高 跳		種 別	投 て き		
	予・決	開始	終了	決	開始	終了	決	種目	開始	終了
		60 分前	50 分前		60 分前	50 分前		砲・ハンマー	40 分前	30 分前
							円盤・やり	60 分前	50 分前	

(3) 招集の方法

競技者は出場種目の招集開始時刻がきたら招集所に集合して、競技者係よりユニフォーム、ナンバーカード、スパイク、商標及び競技場内への持込物品などについて確認を受ける。

(4) 招集の留意点

- ① 同時刻帯に 2 種目兼ねて出場する競技者は、本人または代理人が招集開始時刻に招集所の競技者係に申し出て、指示を受けること。
- ② 招集完了時刻に遅れた競技者は棄権したものとして処理する。

4 ナンバーカードについて

- (1) ナンバーカードは配布されたままの大きさと背に確実につける。ただし、跳躍種目に出場する競技者は、胸部または背部の一方でよい。
- (2) トラック競技に出場する競技者は腰ナンバーカードをパンツの右やや後方につける。腰ナンバーカードは招集所に準備する。競技終了後、フィニッシュ地点でゴミカゴに入れること。
- (3) 特別ナンバーカードは、召集時に配布する。(3000m 以上の長距離、競歩、4×400mR) 競技終了後、フィニッシュ地点で特別ナンバーカード回収補助員に返却すること。

5 番組編成について

- (1) 予選におけるトラック競技の組合せ及び走路順、フィールド競技の試技順はプログラム記載の左側の番号で示す。
- (2) トラック競技の準決勝以降の組合せ及び走路順は、主催者が公平に抽選して決定し、決定次第招集所の掲示板に掲示する。
- (3) トラック競技において、プラス進出者を決める場合、その最下位で同タイム者がでたとき（以下同タイム者という）は、次の方法で決定する。
 - ① 100m・200m・400m・100mH・110mH・400mH・4×100mR・4×400mR の同タイム者（チーム）については、細部（電気計時 1/1000）まで読み取り着差の判定をする。それでも判定できない場合は、同タイム者または代理人によって抽選する。
 - ② 800m・1500m・3000m・5000m・3000mSC の同タイム者については、細部（電気計時 1/1000）まで読み取り着差の判定をする。それでも判定できない場合は、次のラウンドに進むことができる。その際、最終枠の同記録者で抽選を行う。同記録者が 2 人のとき、9 人目の選手が入るのは 8 レーンとする。その場合、外側 2 レーン中位グループで抽選を行う。同記録者が 3 人の場合、10 人目の選手が入るレーンは 2 レーンとし、内側 2 レーンは下位グループで抽選を行う。

6 競技について

- (1) スタートの合図は英語で行う。不正スタートをした競技者は、一回目から失格となる。
- (2) トラック及びフィールド内には、競技者並びに役員・補助員以外は立ち入ることはできない。
- (3) 競技者は、ビデオカメラ・オーディオプレーヤー・トランシーバーや携帯電話もしくは類似した機器を競技区域内で使用してはならない。
- (4) セパレートレーンで行うトラック競技では、競技者の安全確保のためフィニッシュライン通過後も、自分に割り当てられたレーン（曲走路）を走り抜けること。また、欠場者のレーンはそのままあけておく。
- (5) リレーにおいては、チームの出場者は同一のユニフォームを着用するものとする。
- (6) 男子ジュニア 110mH のハードル間は 9.14m、女子ジュニア B100mH のハードル間は 8.5m とする。
- (7) リレーのオーダー用紙は、各ラウンドの第 1 組目の招集完了時刻 1 時間前までに招集所の競技者係に提出すること。（用紙は招集所に準備する）
- (8) リレー競技におけるメンバーの編成は、どのラウンドにおいてもリレーまたは他の種目に申し込んでいる競技者であれば出場することができる（奨励種目のみの競技者は別扱いとする）。ただし、どのラウンドにおいても出場するメンバーのうち少なくとも 2 人は該当リレー種目に申し込んだ競技者でなければならない。予選に出場したメンバーはその後のラウンドを通して、2 人以内に限り他の競技者と交代することができる。
- (9) リレーで使用するマーカー（粘着テープ）は各校で用意し、レース終了後は各校で撤収すること。

- (10) 4×400mRにおける第3・4走者は審判員の指示に従い、前走者が200mスタート地点（黄色旗）を通過した順序で、内側より並び待機する。その後、この順序を変えてはならない。
- (11) 競歩競技において制限時間を設ける。5000mWは男子35分、女子40分を経過後、1周以上残っているときは失格とする。ただし、競技の進行状況によっては、その限りではない。
- (12) 走幅跳・三段跳・棒高跳及びやり投に出場する競技者は、助走路の外側に各自が用意したマーカ―を2個まで置くことができる。なお、走高跳競技に出場する競技者は、助走路内に各自が用意したマーカ―（粘着テープ）を2個まで置くことができる。
- (13) 男子三段跳の踏切板から砂場までの距離は12mとする。また、女子三段跳の踏切板から砂場までの距離は10mとする。ただし、天候その他の条件によって変更する場合もある。
- (14) 棒高跳競技に出場する競技者は、支柱を自分の希望する位置に移動してもよい。ただし、希望する支柱の位置を予め係に申告すること。また、競技開始後に事前に申告し支柱の位置を再変更する場合は、支柱がセットされる前に当該審判員に申し出ること。

7 競技用具について

- (1) 競技者が本大会で使用する用具は、棒高跳競技のポールを除いては、全て主催者が用意したものを使用すること。
- (2) 競技者個人の器具は、練習用といえども競技区域内に持ち込んではいけない。

8 スパイクシューズの制限について

- (1) スパイクの本数は11本以内とする。
- (2) スパイクの長さは、9mmを超えてはならない。走高跳及びやり投競技においては12mmを超えてはならない。
- (3) スパイクの直径は、先端が4mm以内でなければならない。

9 バーの上げ方について

- (1) 走高跳・棒高跳の高さ及びバーの上げ方は次のとおりとする。

種目	練習	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
男子走高跳	1m65	1m70	1m75	1m80	1m85	1m88	1m88	1m91	1m97	2m00	2m03
女子走高跳	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	1m58	1m61	1m64	1m67	1m70	1m73
男子棒高跳	3m40	3m50	3m60	3m70	3m80	3m90	4m00	4m10	4m20	4m30	4m40
女子棒高跳	2m40	2m50	2m60	2m70	2m80	2m90	3m00	3m10	3m20	3m30	3m40

- ① 上記のバーの上げ方を、天候その他の条件によって変更する場合は当該審判長が決定する。
- ② 第1位に同順位者が出た場合の順位決定のためのバーの上げ下げは、走高跳2cm、棒高跳では5cm単位とする。

10 予選通過記録及び計測標準記録について

計測標準記録

男子走幅跳 5m90
女子走幅跳 4m50

計測標準記録

ジュニア男子砲丸投 9m00
ジュニア男子円盤投 25m00
ジュニア男子ハンマー投 20m00
男子やり投 42m00
女子砲丸投 8m00
女子円盤投 22m00
女子やり投 25m00

11 抗議について

- (1) 競技の結果または行為に関する抗議は、規則第 146 条に基づき、正式に結果が発表されてから 30 分以内に、また、次のラウンドが行われる種目ではその結果が発表されてから 15 分以内に、競技者自身または代理人が口頭で審判長に申し出る。
- (2) 口頭での抗議に対する裁定に不服の場合は、その競技者にかわる責任者が文書と預託金 1 万円を添えて大会総務に正式な抗議の手続きをとる。この預託金は、抗議が受け入れられなかった場合は没収される。

12 競技者の競技場内への持ち込み物品について

- (1) 競技者は競技場内（練習場も含む）に、企業名、商標名等のついた物品を持ち込む場合は、規定にあったもの以外持ち込んではいならない。

13 表彰について

- (1) 各競技種目の表彰は第 8 位までとする。
- (2) 表彰を受ける競技者は、競技終了後直ちに、表彰控え場所へユニフォームを着用して集合すること。
- (3) 表彰場所は、主競技上メインスタンド前で行う。競技進行状況等によってはメインスタンド下の室内で行う。
- (4) 4×100mR・4×400mR の表彰は第 1 走者～第 4 走者の 4 名で行う。

14 その他

- (1) 救急、救護に関する処置は、メインスタンド下の医務室で行う。応急処置は行うが以後責任は負わない。
- (2) アイシングで使用する氷は、各団体が準備すること。
- (3) 各団体のテント等の設営は、競技場のサイドスタンド及びバックスタンドの芝部分に設営すること。通路を妨げて設営したり、柵（フェンス）へ取り付けたりしないこと。また、競技終了後は、毎日たたむこと。
- (4) 競技場内の更衣室は使用してもよいが、休憩場所や控え場所としての使用は禁止する。
- (5) 届けられた遺失物については、大会庶務係で保管する。
- (6) 応援はスタンドで行うこと。ただしメインスタンドでの集団での応援は禁止する。応援に当たっては、競技者や競技運営に支障のないように十分配慮すること。特に、フィールド競技の進行に支障のないように十分注意すること。
- (7) 盗難等がないよう持ち物及び貴重品の管理には十分注意すること。
- (8) 招集所からスタート地点への移動は、原則とし、スタンドの外を通ること。スタンド前は絶対に通らないこと。